

取扱説明書

LED式視力検査器 RC-1000

医療機器製造許可番号 26BZ006008
医療機器製造販売業許可番号 26B3X00023

※測定準備

- ①コントロールBOXはACアダプターで、約3時間でフル充電できます。(放電後/充電)
(使用頻度と劣化によりますが充電後、1～2週間は持ちますので過充電されないようお願い致します。)
- ②本体の電源コードにて、AC100Vを接続し電源スイッチをONにします。
- ③ 5m/3m用、各タイプに合わせ被検者の立つ位置と測定者の位置を決めます。

【測定準備完了です】

※測定方法

- ①コントロールBOXの電源スイッチをONにし、本体下部受光器に向けて「0.1～2.0」 13個の測定ボタンで測定します。
- ②13個の測定ボタンは、1箇所を4回押す事によりランダムに4箇所を投影しコントロールBOXにその標示をします。
(標示は本体、コントロールBOX共に約15秒で消灯します。)
- ③斜め入り8方向C環表(標準)と斜め無し4方向C環表、各仕様に対するコントロールBOXの操作方法
(1)電源をONにする・・・測定開始→斜め入り8方向C環表(標準)をコントロールします。
(2)測定ボタン2.0を押しながら電源をONにする・・・測定開始→斜め無し4方向C環表をコントロールします。
- ④色覚検査部は、R&Gのボタンを一度押す事により点灯し、もう一度押すと消灯します。
(本体サイドボリュームにて、照度が調整できます。)
- ⑤文部省指示の4段階測定法にて測定する場合 0.3 0.7 1.0の測定ボタン赤色のみを使用します。
(A B C D ランクも標示しています。)

【4段階判定基準】

A 1.0以上	1.0の視標が判別できた	学業に支障なし
B 0.7～0.9	1.0の視標は判別できなかったが 0.7の視標は判別できた	学業に支障が生じる場合があるので 医師の診察を受ける事
C 0.3～0.6	0.7の視標は判別できなかったが 0.3の視標は判別できた	学業に支障があるので医師の診察を 受ける事
D 0.3以下	0.3の視標が判別できなかった	

※その他

- ①視力表のメンテナンスは本体を机など平らな所へ移し、前部カバーのサイド6箇所のネジを外せば前部カバーと視力表は外せます。(アルコール又は、中性洗剤でお願いします。)
- ②スタンド式に限り、移動の際はスタンドから本体を外してお願いします。
(フック式なので、あまり揺らすと外れてしまう恐れがあります。)
- ③視力表別売品¥15,000-を購入することにより8方向、4方向と2タイプの視力表を併用できます。

※付記

視力0.1以下の簡易測定法

5m用/3m用、各視力表の0.1が読み取れる距離で測定します。

視力	0.1	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04	0.03	0.02	0.01
5m 用	5m	4.5m	4m	3.5m	3m	2.5m	2m	1.5m	1m	0.5m
3m 用	3m	2.7m	2.4m	2.1m	1.8m	1.5m	1.2m	0.9m	0.6m	0.3m